



御葉つきいてふ
秋田縣北秋田郡東館村産

ガ小サイ川ハアレドモ水量少ク且砂地デナク大岩石多ク土壤ヲ形成セヌ等カラ分布生育セズ(サロマ川口附近ニハアルカト思フガ限ナク踏査シナイカラ何トモ言ヘヌ)又今同發見ノ能取湖ノ西湖岸ニ多ク東海岸ニ殆ドナイコトモ當然デアルト説明出來ル四國樺太ノ分布モ多分此ノ條件ノモトニ分布シテキルモノデアラウト信ジテキル、以上大膽ナル考察ヲ試ミテ御叱正ヲ願フモノデアル

(昭和六年十一月二十二日記ス)

○秋田縣ニ在ル御葉つきいてふ

秋田縣北秋田郡山瀬村越山 松田孫治

昭和六年十月二十七日偶然ニモ或兒童ノ談ニヨツテ秋田縣北秋田郡東館村ニ御葉つきいてふノ在ルコトヲ確メタ、自分ハ未ダコレガ奥羽地方ニ産スルコトヲ知ラナカッタカラ以下之ニ就テ述ベヨウ

いてふハ間違デいちゃうナリトイフ學者モアルトイフガコデハいてふトシテ置ク

右東館村ノモノハ樹高一三・二〇「メートル」胸高周圍一・八五「メートル」地上一・九五「メートル」ニ於テ略南北ニ幹ガ二分シテキル、東館尋常高等小學校庭ノ雄木ヨリ推シテソノ樹齡ハ五十年位ト考ヘル、本いてふノ由來ハ現在ノトコロ不明デアル

葉上實ヲ有スルモノ稍々稀レデアル、多クハ幹部及太キ枝上ノ短極ニ着生

陸前仙臺ノ名木あふひハ確カニいひぎり

スル

採集シタモノ、一部ヲ證據トシテマズイナガラコ、ニソノ寫眞ヲ示スコト、シタ

(昭和、六、一一、二九、記)

○陸前仙臺ノ名木あふひハ確カニいひぎり

陸前仙臺 林 定 明

本誌ノ六卷一號ニ久内先生來仙ノ砌リ御覽ニナツテあふひノ名木ナルモノいひぎりニ違ヒアルマイ、シカモ果實ノナカッタコトカラ考ヘテ雄本デアラウトノ記事が掲ゲラレテアリマシタ、其後此ノ珍木ニツイテ誰モ書クモノガナク今日ニ至リマシタノデ當地ニ在住シマス私ガヲコガマシクモデシヤバツテ此ノ木ニツイテ一筆書カウト思ヒ立チマシタ、淺學ノコトナレバモシ間違ッタコトヲ書キマシタナラバ御笑ヒニナラズニドゾ御教示ヲネガヒマス

前オキハコノ位ニシマシテ問題ノあふひノ木デゴザイマス、久内先生ハ土地不案内ノコト故御靈屋(コレハ市ノ西南隅ニアル)ニ在ルト申サレマシタガ實ハココハ御靈屋デハナク丁度正反對側ノ東北隅ニアル縣社東照宮ノ境内ニ在ルトデス、東照宮ハ約二町四方ノ小丘デ全部森林ニ包マレテ居リ中央部ノ一番高イ所ニ社殿ガアリマス、藩祖開封以前徳川家康ガ此地ニ來リシ頃ココニ天神社ガアリ駒ヲ止メテ小休ミシタ地ニ因ンデ後ニ東照宮ヲ建立シタ處ト言ハレテアリマス、舊幕時代ニハ附近ニ寺院ナド附屬シ廣大ナモノデアリマシタガ今ハ神社ノミトナツテシマヒマシタ、例ノ名木ハ高イ石段ヲ上リツメタ右側ニアリ高札ヲ立テ木ニハしめ繩ガ廻ラサレテキテ高札ニハ正シクあふひト書イテアリマス、私ガ此ノ木ヲ確カニいひぎりデアルト斷言スルノハ大正十年六月廿五日ニ採集シタ一枝ノ標本ヲ所有シテヤルカラデアリマス、神木ノ枝ヲ折ルコトハ許スベカラザル不敬